

# 81年3月燃料輸送延長阻止へ

## むけ組織の強化を

館山支部は、九月二十九日、十二時三十分より館山運転区講習室において職場集会を開催した。この集会には、五五名の組合員が結集し、来年三月ジェット燃料輸送延長攻撃粉碎にむけて、支部の組織を更に強化するとともに、今日闘い抜いている内房線の闘いを再構築し、国鉄三五万人体制攻撃と鋭く対決する体制の確立をはかっていくことが、全体の意志統一としてかちとられていった。

### 韓国一九八〇年 血の抗争の記録上映!

支部集会は、十二時三十分より始められ、最初に五五・一〇ダイ改交渉における作業内容などについて、ダイヤ検討委員会よりの報告が行われた。続いて、本部が購入した「韓国一九八〇年 血の抗争の記録」を上映した。映画は、韓国全斗煥軍部独裁政権の血の弾圧に抗し、次々と死をも恐れず決起する光州市民・学生の姿が映し出され、参加した組合員は画面を通じて、闘う朝鮮人民との連帯を痛切に感じとった。

続いて、本部を代表して中野書記長より、五五・一〇をめぐる情勢、動労千葉の闘いの総括さらには、来年三月のジェット延長阻止に向けた当面の取り組みなどが細部にわたって提起された。この後質疑応答に入っていた。

### 反動攻勢をつき破るのは、 何よりも労組の闘う構え方だ!

挨拶に立った中野書記長は、五五・一〇ダイ改は、客貨分離粉碎を軸に、国鉄当局の攻撃を大きくつき崩し、五六・三燃料延長策動に対し、大きくさびを打ちこんだといえる。

今日、政府・支配者階級は国鉄を八〇年代に見合う体制造りを着々と押し進めてきている。国鉄「再建」の骨旨は、明確に国鉄をタテに割る分割論であり、三五万人体制にしても、国鉄赤字は決してなくならないことは、攻撃する支配の側が一番知っている筈である。

今日の攻撃は、国鉄の公共企業体としての使命を自ら棄てて、大々的な外注化を行い、残った部分に徹底的に合理化を加えてゆくという恐るべき攻撃である。

こうした攻撃に対し、労働組合は全くの弱腰であり、弱点をみせれば敵はかさにかかって攻撃してくることは、必至であり、何よりも労働組合の闘う姿勢・構えが一番大切であることが、力強く提起された。

### 「本部」のジェット方針は、 動労千葉破壊のためのペテン!

質疑に入り多くの意見が出されたが、①線路改善、除草問題を含め反合・運転保安闘争の強化をはかるべきである。②三里塚・ジェットの闘いは、千葉の千四百名のみが闘ってきている。第三六回(名古屋)大会で、来年三月燃料延長に対し、闘うことを決議したらしいが一体どういうことか。③「本部」は千葉のジェット闘争に敵対して千葉を切ったのではなかったのか。来年三月燃料延長阻止闘争に対する介入・敵対宣言だ。④全動労解体と日共野合はどう結びつくのか。その他業務関係などの意見・質問に対し、本部役員、支部執行部よりそれぞれ答弁が行われ、全組合員の力で支部の組織強化をかちとってゆくことが、意志統一された。

### 訃報

九月二十九日、幕張支部・事務掛、故小宮熊男氏(五四才)の葬儀が、千葉県船橋市行法寺においてしめやかに行われました。故小宮熊男氏は、九月二十七日、薬石の効なく急逝されましたが、この訃報に驚きと悲しみのうちに幕張支部はじめ他支部から多数の組合員が葬儀にかけつけ、生前の故人の信望厚き人柄をしのびつつ野辺の送りを行いました。動労千葉からは、関川委員長、関・林両執行委員が参列しました。ここに謹んで全組合員にお知らせするとともに故人の御冥福を祈ります。